

令和3年第1回定例会一般質問通告書

通告1番 千葉 伸孝 議員
質問方式 一問一答
質問事項 三陸道の新たな段階での経済活用を
質問相手 町長
質問の要旨

- 1 気仙沼市の湾岸横断橋の3月6日の開通は、町にとってどんな効果をもたらすのか。
- 2 歌津北インターが上下線乗り降りのインター化が2025年度の完成を目指すというが、完成の短縮とはならないのか。
南三陸町に第2の道の駅の整備を、歌津北インター付近への考えは。
- 3 高速道による来町者の推移と観光事業の拡充対策は。
- 4 気仙沼市との共同の観光客誘致の計画は。
- 5 コロナ感染者が減少している中で三陸道が延伸し、また、仙台から八戸間の開通を来年度に控え、人の移動による感染リスクが高まることと懸念されるが対応は。
- 6 三陸道での自然災害や大規模事故における町の関わりは。

通告2番 須藤 清孝 議員
質問方式 一問一答
質問事項 南三陸町職員の育成について
質問相手 町長
質問の要旨

未曾有の大震災翌日から、顔をあげ歩き始めてから10年が経とうとしています。暮らす場所と働く場所を分け、新しい形を成した南三陸町は、未来に向けて歩きはじめます。台風災害復旧やコロナ対策と言った、目前の課題も重要ではあるが、復興事業に一定の目処が立った現状で、年度が変われば、庁舎内の業務のかたちにも変化が生じて来るものと解しています。新しい形の通常業務を形づくるのには、少々時間を要するのではないかと懸念するところであり、震災を陰で支えて来た職員にはこれから先、ますます活躍して頂かなければならないと思っております。しかしながら、年度が変わるこの時期になると、若い職員の退職が気になることから目を背けることはできません。限られた財源を駆使し、限られた人数でこれからの南三陸町民の福祉向上をかたち創って行くには、離職者の無い南三陸町役場である事が理想であると思う次第である。よって、これまでの取り組みと現状の課題、加えて、これからの対応策を伺うものである。

通告3番 後藤 伸太郎 議員
質問方式 一問一答
1件目
質問事項 林業の裾野を広げる取り組みを

質問相手 町長
質問の要旨 町内の林業を取り巻く環境は依然厳しい。森林の持つ多面的な機能を発揮させるためには産業として成り立たせるための工夫が必要だが、林業に携わる人の裾野を広げる取り組みについて伺う。

- 1 森林環境譲与税の用途は。
- 2 移住者の受け入れを含め、林業家を増やす取り組みは。
- 3 自伐型林業の将来的な可能性は。

2 件目

質問事項 骨髄移植ドナー支援事業導入を
質問相手 町長
質問の要旨 白血病等の血液疾患の患者に対し、骨髄または末梢血幹細胞を提供するドナーに対して助成金を交付する制度の導入が県内で広まっている。当町でも助成をおこなう考えはないか。

3 件目

質問事項 感謝状の贈呈、やり遂げられるか
質問相手 町長
質問の要旨 震災から10年。本当に多くの方の支援と励ましによって南三陸町はここまでの復興を遂げた。町民を代表して町長がその善意を寄せてくださった方々へ感謝を伝える全国行脚をおこなっているが、感染症の流行もあり、予定の変更を余儀なくされたものと思う。ありがとうという想いを直接伝えるこの取り組みを完遂できるか。

通告4番 倉橋 誠司 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問事項 コロナウイルスワクチン接種について
質問相手 町長
質問の要旨 新型コロナウイルスワクチン接種がいよいよ始まる。
各自治体は接種を行う会場の選定などを進めているが、必要な医師や看護師などを十分に確保できるか不安視する声もあがっている。
接種を円滑に進めるための体制の整備が課題となっている。
南三陸町でも同様の課題があるかと考えるが、町の対応を伺う。

- 1 医療関係者の先行接種は予定通り進んでいるか。
- 2 高齢者と基礎疾患のある人はいつ頃摂取できるか。
- 3 ワクチンの保管と輸送の体制は。
- 4 一般接種の流れと体制は。
- 5 2回目接種を終えるのはいつになるか。

2 件目

質問事項 交通政策について

質問相手 町長

質問の要旨 気仙沼市の三陸自動車道がようやくつながり県外への利便性が向上した。鉄道のない当町では道路が最重要なアクセスとなっている。

道路環境をより良くするために下記を問う。

- 1 志津川高校南側の町道に平行している農道を組み込むべきでは。
- 2 高野会館を周回できる道路を整備すべきでは。
- 3 歩行者目線、自転車目線での道路整備は。
- 4 無電柱化に対する町の考えは。
- 5 スマートモビリティやカーシェアリングの導入は。

通告5番 佐藤 正明 議員

質問方式 一問一答

1件目

質問事項 町道の整備計画について

質問相手 町長

質問の要旨 入谷地域の主要道路となっている、横断道路の整備計画をどのように考えているのかについて、次の点を伺う。

- 1 平成27年度より着手し6年目になる。現在も施工中であるが、依然と進捗が見えない状況。横断1号線の整備が完了する時期は何時になるのか。
- 2 その他の横断線、現状を確認すると整備が必要な時期と思う。対策を考えては。

2件目

質問事項 災害危険区域の対応や避難施設について

質問相手 町長

質問の要旨 近年の異常気象により、各地では豪雨などによる土砂災害や濁流で、浸水災害などが多く発生している。危険個所は調査済みと思うが、土砂や浸水災害危険区域内で生活をしている方々がいる事から、次の点を伺う。

- 1 土砂、浸水災害危険区域内の方々には、周知は徹底しているのか。また、危険区域の対応・対策をどのように考えているのか。
- 2 避難所施設は、各公共施設や行政区の公民館等を考えているようだが、被災時は避難所までの経路と、駐車場などの整備も考える必要があると思う。考えているか。

通告6番 高橋 兼次 議員

質問方式 一問一答

質問事項 磯焼け対策について

質問相手 町長

質問の要旨 1 県が策定した「藻場ビジョン」を踏まえて、当町が今後取り組まなければならない実効性のある効率的な藻場の保全、または再生に向けた考えは。
2 深刻化する磯焼けの主な要因となっているウニの食害防止策並びに活用策は。

- 3 地球温暖化による海水温上昇に対し、官民一体となった本格的な取り組みを推進すべきと思うが、町長の考えは。

通告7番 今野 雄紀 議員
質問方式 一問一答
質問事項 パークゴルフ等で持続可能なコミュニティスポーツの推進
質問相手 町長・教育長
質問の要旨

- 1 パークゴルフでの健康増進、生きがいつくりへの波及効果。
- 2 観光交流人口の増大効果、にぎわいつくり。
- 3 自然的土地利用予定地等の活用。
・旧松原公園 ・入谷ひころの里 ・歌津商店街付近 ・たつがね山
・旧戸倉小跡地付近 ・旧戸倉中グラウンド ・かみわり崎などで実現
- 4 ガバメントクラウドファンディング、ふるさと納税で、震災から10年、これからの地域コミュニティの再生。
- 5 近隣のパークゴルフ利用の際に低額の利用券で補助。
- 6 小学生から高校生までも楽しめるパークゴルフを学校教育で活用し、将来的な生涯スポーツの推進、活用。

通告8番 菅原 辰雄 議員
質問方式 一問一答
1 件目
質問事項 第2期総合戦略について
質問相手 町長
質問の要旨

町では、国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づき平成27年度から令和元年度までの5ヶ年で「南三陸町総合戦略」を策定し、実現に努めてきた。令和2年度から6年度まで「南三陸町第2期総合戦略」を策定しているが、次の点を伺う。

第1期総合戦略の成果と課題を基に2期がスタートしたが、改めて1期の成果と課題、2期の取り組みについて考えを伺う。

2 件目
質問事項 教育環境について
質問相手 教育長
質問の要旨

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で児童生徒を取り巻く環境が著しく変化しているとの認識の下に伺う。

- 1 コロナ禍での学校運営の現状と課題について。
- 2 宮城県は児童生徒の学力が全国でも低いと言われているが、当町の児童生徒の学力の現状と対策は。
- 3 不登校児童生徒の現状と対策は。

通告 9 番 及川 幸子 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問事項 3・11 から 10 年をへて震災の検証について

質問相手 町長

質問の要旨

- 1 三陸沿岸での津波の増幅と遡上、氾濫の検証と今後の対策について伺う。
- 2 今後の志津川地区津波防災対策としての避難方法と有事の際を想定した訓練の在り方を伺う。
- 3 志津川市街地の防災道路ネットワークの構築を伺う。
- 4 津波による犠牲者を二度と出さないための対策について伺う。

2 件目

質問事項 「ハマレ歌津」国道南側の整備計画について

質問相手 町長

質問の要旨

- 1 整備計画の内容について伺う。
- 2 施設整備の費用対効果を計るうえで重要なのは利用率や集客率と考えるが、その見通しは。
- 3 集客を見込むためには地元食材をその場で食べたり、買ったりできることが最も効果的な要素と考えるが、町長の考えを伺う。